

「参加・協働のまちづくり」
湯沢市地域自治組織人材育成セミナー
第5回 学習会
＜ワークショップ検討結果＞

と き 平成18年10月24日(火)午後1時から3時
ところ 雄勝農業研修センター 2階 研修ホール
(湯沢市役所雄勝庁舎隣)

第5回 学習会 <ワークショップ> 班名簿

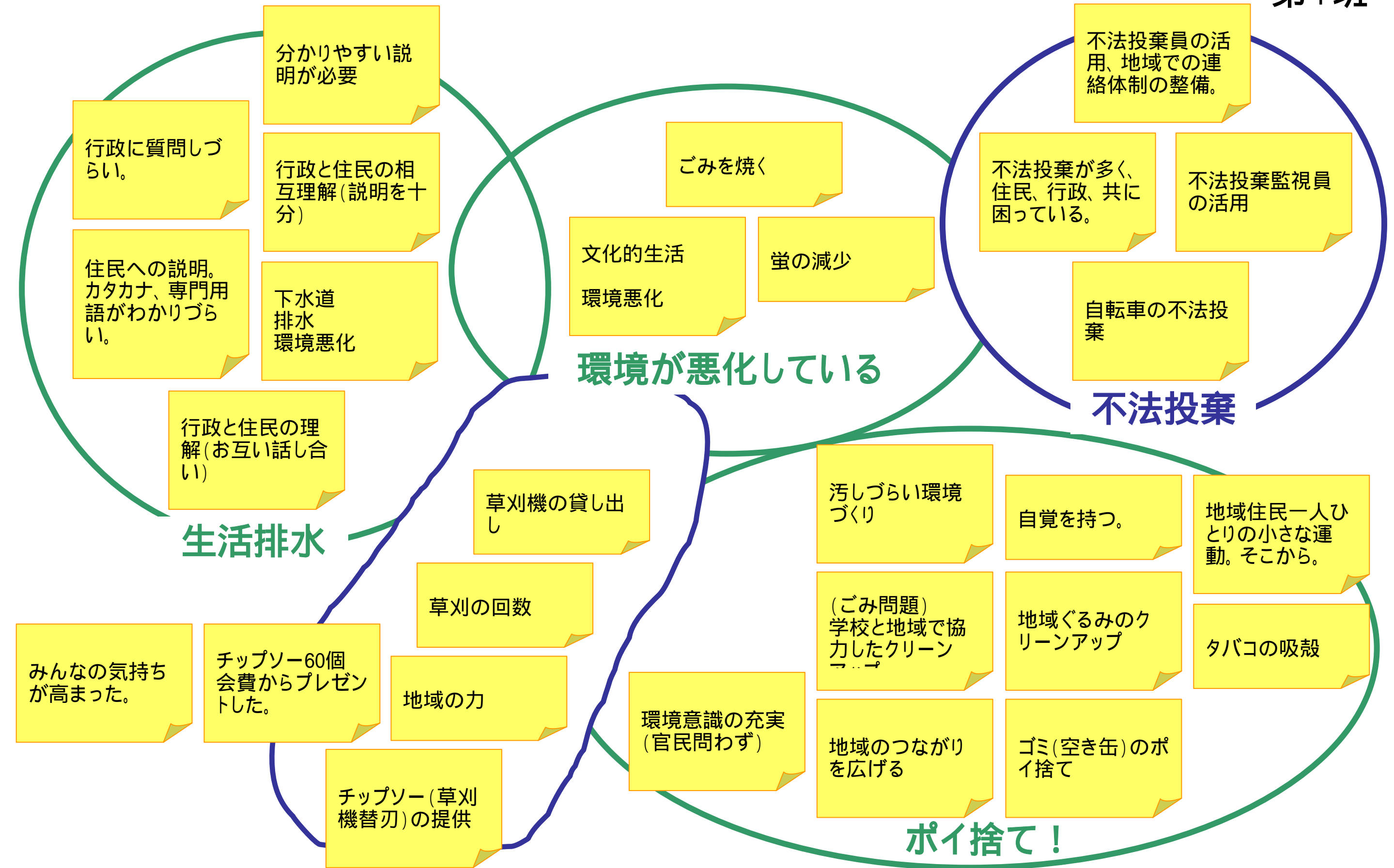
1 班		
	自治組織名	氏名
1	山田自治協議会	加藤 忠一
2	駒形町自治区	高橋 光悦
3	横堀地域づくり協議会	高岡 徳吉
4	横堀地域づくり協議会	本間 弘子
会計課出納班		安倍 讓
雄勝総合支所		井川 克彦
大崎地域創造研究会		小玉 順子

2 班		
	自治組織名	氏名
1	山田自治協議会	高橋 安雄
2	横堀地域づくり協議会	西村 文昭
3	横堀地域づくり協議会	齋藤 小枝子
4	横堀地域づくり協議会	佐藤 幸一
5	小野地域づくり協議会	高橋 政美
雄勝生涯学習センター		猪俣 俊彦
皆瀬総合支所		柴田 貴洋
大崎地域創造研究会		佐藤 兎都

3 班		
	自治組織名	氏名
1	幡野地区自治協議会	奥山 久次
2	三梨町自治区	遠藤 幸次
3	雄勝野づくり協議会	菅 則善
4	横堀地域づくり協議会	今 慶一
5	小野地域づくり協議会	門脇 隆一郎
雄勝総合支所 地域企画課総務企画班		今村 幸恵
大崎地域創造研究会		佐々木 俊一

4 班		
	自治組織名	氏名
1	岩崎地区自治団体連絡会議	藤田 平七
2	幡野地区自治協議会	菅谷 正夫
3	雄勝野づくり協議会	伊藤 富美子
4	横堀地域づくり協議会	平塚 昭夫
5	横堀地域づくり協議会	菅野 栄市
院内地区センター		根岸 義勝
稲川総合支所		中澤 浩志
大崎地域創造研究会		片倉 美智子

5 班		
	自治組織名	氏名
1	弁天地域づくり協議会	藤田 直
2	駒形町自治区	藤原 尚毅
3	院内地域づくり協議会	小西 芳郎
4	横堀地域づくり協議会	戸部 尚武
5	横堀地域づくり協議会	山本 忠
小野地区センター		高橋 典子
稲川総合支所		佐藤千代志
大崎地域創造研究会		佐藤 厚



人が少なくなった

過疎化

過疎

若妻会のように定期的に出るシステム
罰金(出おくれ)、欠勤代

地域活動に出てこない。人まかせ。
↳ 休日に集中しているのも原因。

ゴミ

道路路肩・駐車場等の
ポイ捨て。
粗大ゴミの投捨て。

老人クラブのグランド
ゴルフが楽しい。

・心の余裕
・時間の余裕
・金の余裕
ない

実働部隊である30才
~50才の人達が参加
していただけない。高
齢化が進んでいる。

先に立ってやるリー
ダーを求めるのが困
難。

町内での行事等でも
年代によって考えが
だいぶ違う面があり、
若い年代は町内会と
いうより子ども、家庭
が優先して行動して
いる。

人口の異動がない。

町内義務出役の欠
席が多く、代表として
良くないのではと心
配している。

子どもたちの安全と
いう事で各いろいろな
団体、地域ボランティア
等の人々が協力して
いるが、一部の人
であるが、あまり人ま
かせなところが見える
(親の方)。学校側も
情報をもう少し出して
ほしい。

行事に参加する人
が少ない(それぞれ
忙しそう)。

町内会等会合に集
まる人々が少ないの
で、どうしたらよい
か。

何か問題があっても
誰かがやってくれる
だろうと、皆、他人ま
かせのところがある
(自分も含めて)。

後継者がいない。

地域のしがらみにとらわれず自由に生きたい。

家族の進め、家庭の理解
世代交代
PTAや他の団体と情報を共有する。

職業の多様化、勤務時間
の24時間体制等から共通
の時間、話題を協議する
時間がない。

大雪が降るため冬期間
眠っている。

部落長として老人の一人
暮らし、大変悲しい。

交通の基盤が整っていな
い。
高速化の遅れが顕著。

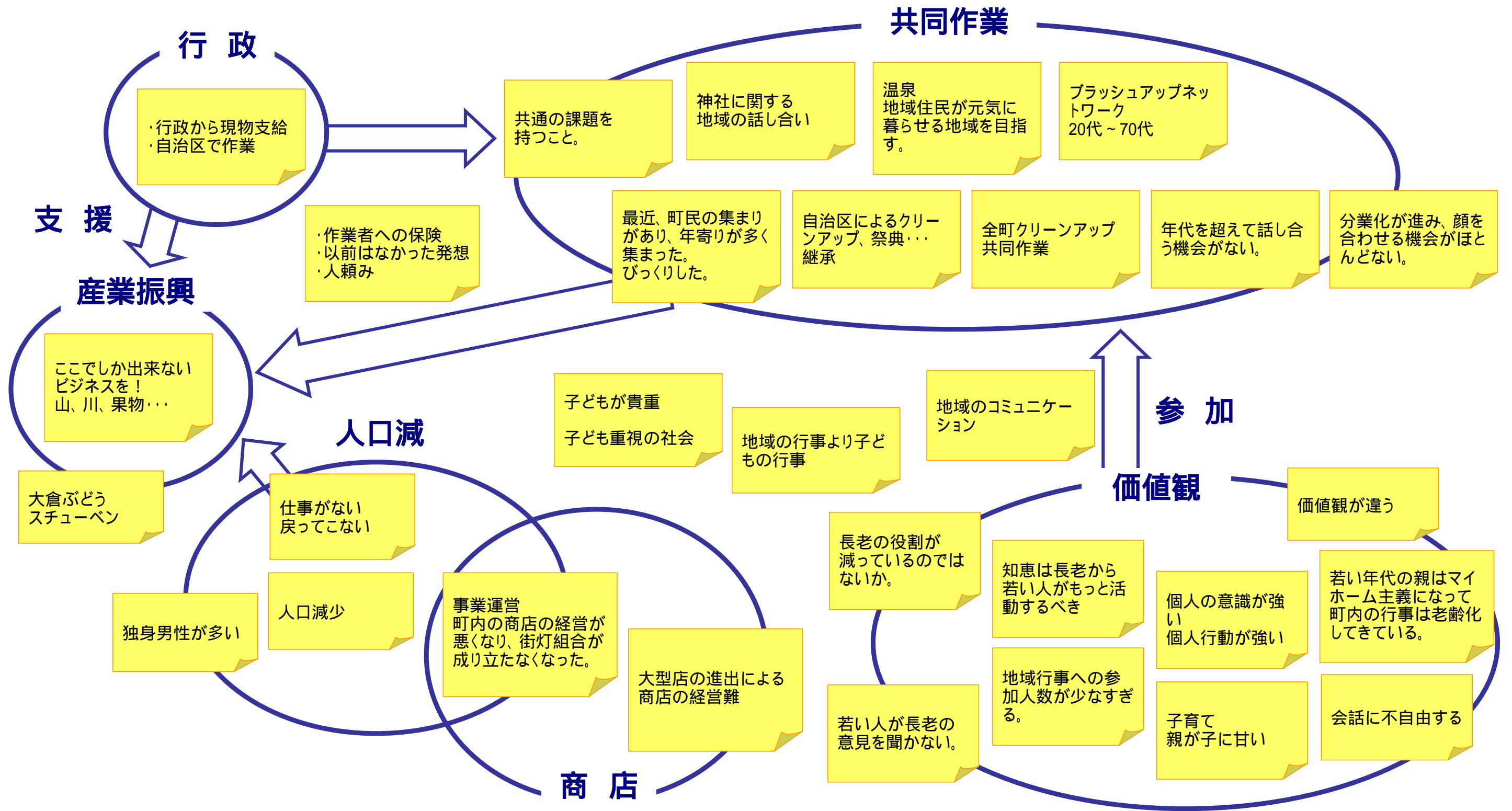
都会は景気回復したとい
うが地域的な経済情勢は低
迷している。参加の余裕が
ない。生きるのに精一杯。

第3班

リーダー

- 地域づくり 焦らず ゆっくり。結果・成果を急がないこと。
- 地域の方々の意識改革(行政をあまりにも頼りにしてきた)
- 地域協議会にお世話になっているが、はっきりした目標にまだ到達しないのが残念。

目配せできるリーダーの素質



第4班

地域の行事に人が集まらない

課題

・高齢化が進み、若者が少ない。
・休日の行事等は、若者は若者同士で予定を組んでいるから出られない。

子どもの行事に親がふり回される。(PTA活動は協力的)

町内会の活動には出来るだけ若い世代(子ども)を参加させるようにしている。

長老の意見に支配されやすい。

どうしても他人まかせになってしまう。

地域活動への積極性が乏しい。

会合に参加する人が限られる(出席率悪)。

若者は土日忙しい。

若者が参加しやすい雰囲気をつくる必要がある。

祭り
子ども参加が少ない。

裸まつり
東京の人が「やりたい」。

楽しめる分野へは出やすい。

若者に主体性がない。リーダーがいない。

若い人、女性から意見が出てこない。

若者、夜の勤務。

祖父、父まかせの若者(世帯主ではない)。

飲み会は、気の合う人々しか集まらない(若者こない)。

子ども中心で若者が参加できない

コミュニケーションの場づくり

学行 校政

学校行事と地域行事が重なる。

学校に要望

行政は行事の日程を調整するべき

子どもに関わることから始めよう。

婦人会、若妻会の方々の意見の場を。

地域の運動会に体育指導員を。運動会13時まで終われるように。参加費徴収し、飲み会を。

本人に参加させる・参加する意思を持たせる。

子どもの行事には熱心に取り組む。

高齢者、一人暮らし行事に参加できない(隣家の若者が代わりに参加してくれれば)

回覧で通知。農業で忙しい。

年配者と若い人とのコミュニケーション

書類での知らせは見てもらえない。伝わらない。声かけが重要(TEL)。

参加者少ない

日程変更(電話で声かけ)

災害時の連絡網。プライバシーの問題。

ペーパーだけでは伝わってない

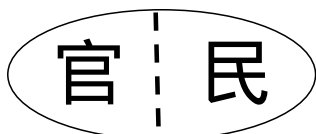
ペーパーでは心が伝わらない。

声かけ

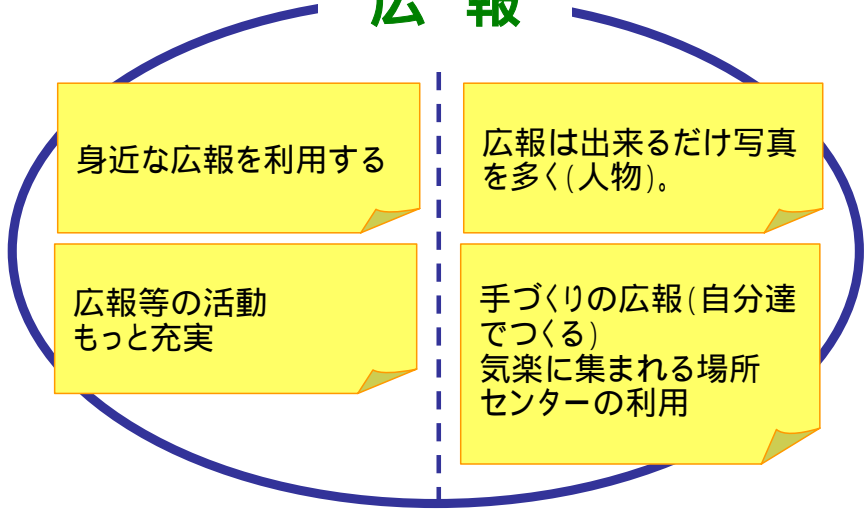
家族の理解

第5班

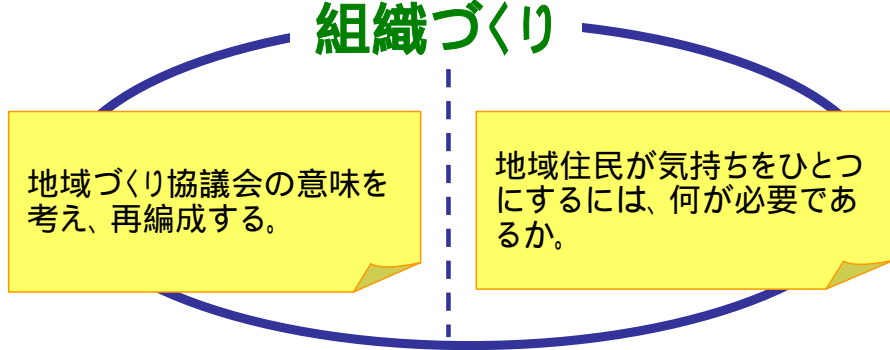
課題解決



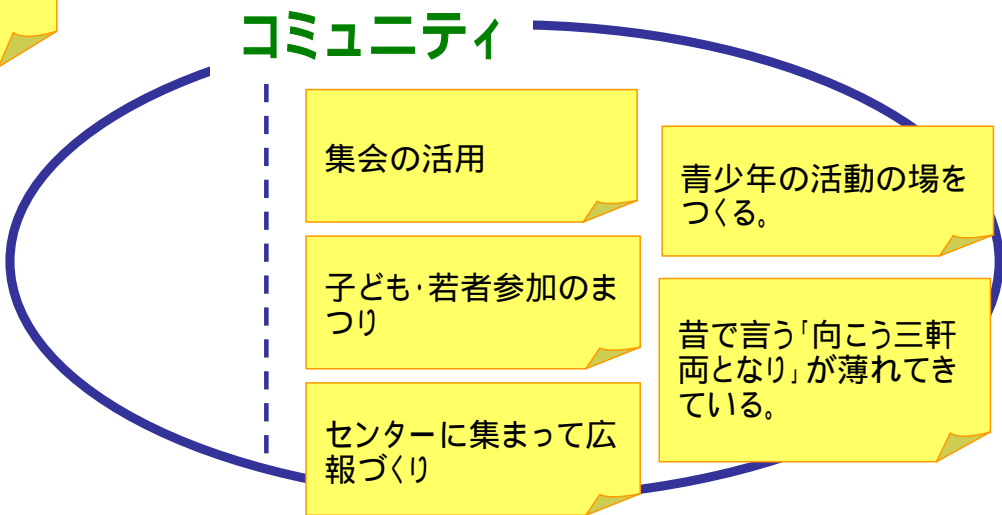
広報



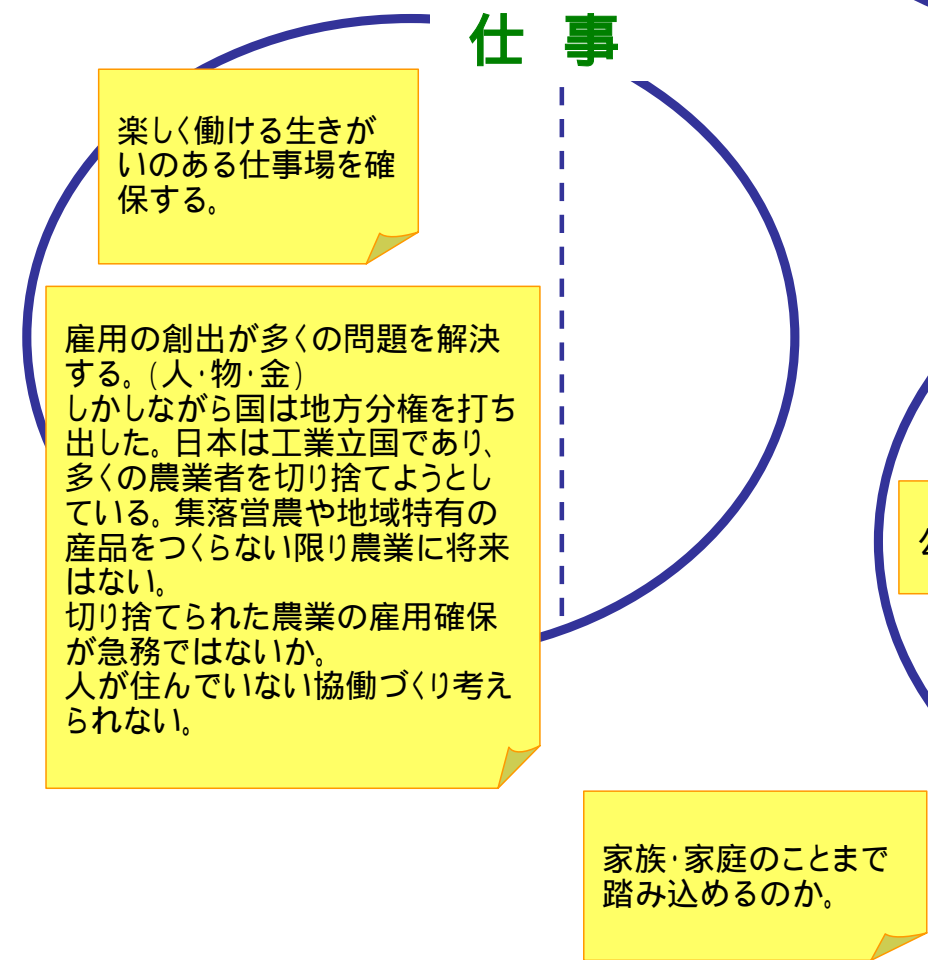
組織づくり



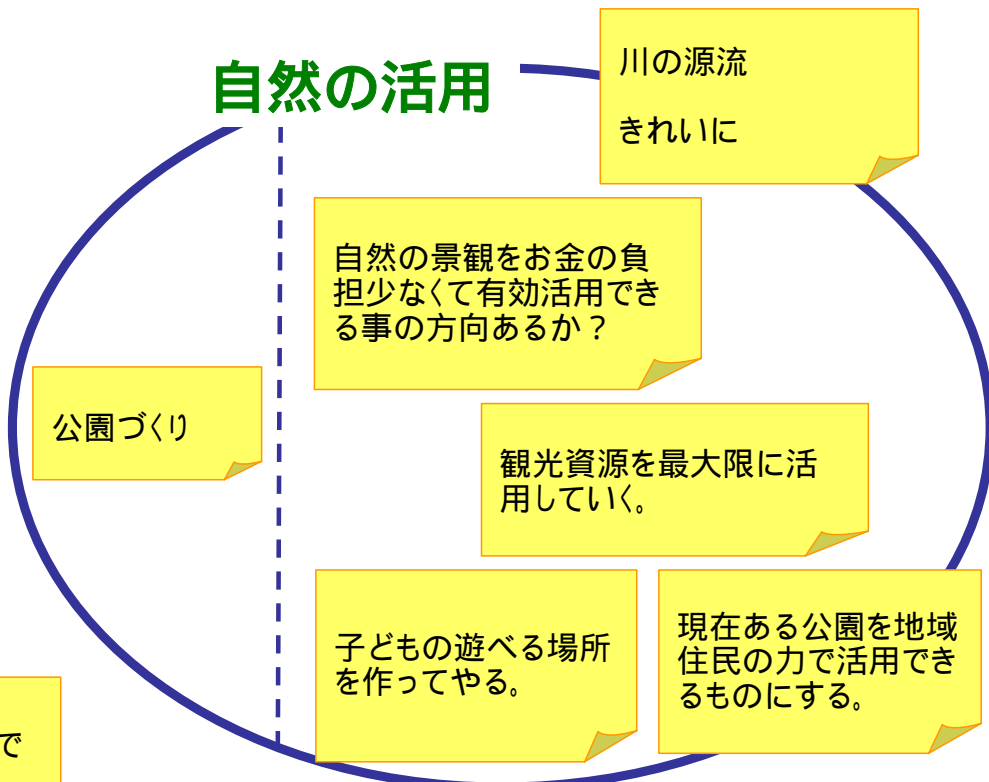
コミュニティ



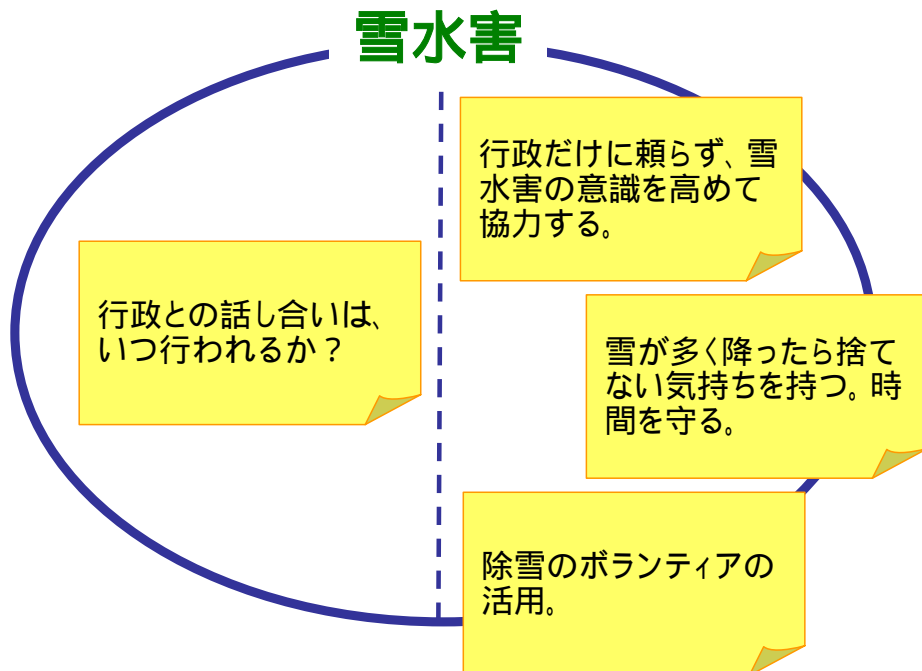
仕事



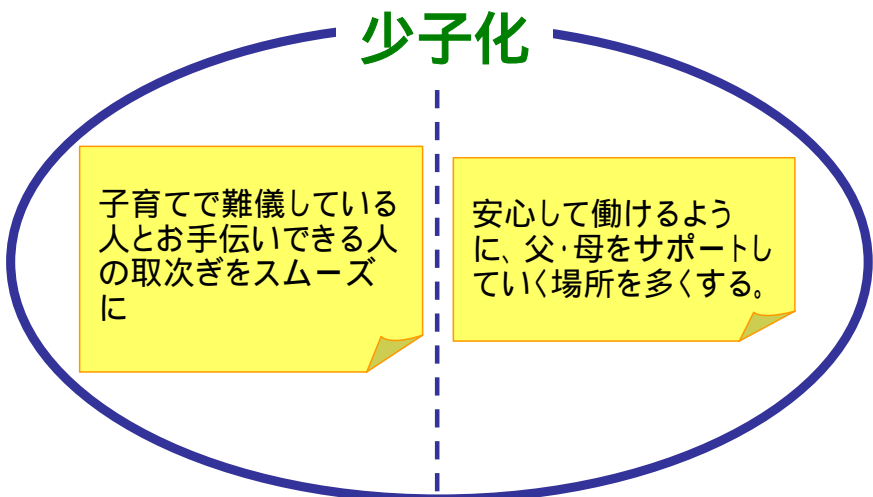
自然の活用



雪水害



少子化



第5班 参加協働のまちづくりを進める上での課題

